

桜川文芸

俳句

【大和俳句愛好会】

保存食作る慣はし里の冬

鈴木 つぎ

八十路にも夢は大きく去年今年

田中 はつひ

夕雲の同じ日はなし鳥渡る

皆川 和子

紅葉の中で至福の露天風呂

代田 とし

現役や直販所へ冬野菜

斉藤 与誌子

背伸びして母の髪梳く小春の日

安達 幸子

【桜川岩瀬俳句会】

初夢に夫婦筑波と幼な頃

大関 しづ子

御降りにあまねく恵み賜わりぬ

上野 好江

恙無く鐘に聞きいる去年今年

菊池 すい

餅花や農に生きよと神の声

細谷 充子

新年会ほろ酔い影がお供する

永瀬 ちい

寒ぼたん白く光りて藁の中

長井 冬扇

短歌

【花の室 木崎集】

故郷は雪降らぬ街ゆきふればただそはそ
はと窓の辺に寄る

塚田 沙玲

疎開の子だつべだつべに戸惑ひつつ山へ
小川へ妖怪仲間

野村 幸男

賑わいの日日再びと祈りつつ静もる蔵に
一人佇む

西岡 和子

【岩瀬短歌会】

垣根越え道にしだるる白萩の花すがすが
と碧空に映ゆ

小林 むら

白々と咲き極まれる月下美人の清しき香
りは夜を満たせり

広沢 日出子

吾が便り説教めきて重しとふ外つ国の娘
の文を寂しむ

小林 美瑛子

嫁くもさびし嫁かぬもさびし末の孫花嫁
となる真珠の月に

五月女 静江

「わっしょい」の子供御輿の担ぎ手に大
人もまじる子ら減りゆきて

渡辺 しな子

山羊と遊ぶ幼子に添ふ母の声のやさしく
なりぬ木洩れ日の園

古賀 澄

紅と白の百日紅は咲き充ちぬ主人の退院
待ちみる如く

瀧井 幸子

ちよこなんと蟋蟀夕餉の卓の上それから
夫との会話弾みぬ

大久保 富美江

【岩瀬秋歌会】

錦秋の中に見事な滝みえて霧降高原雲海
の中

長谷川 玲子

農に生き鶏卵五六ヶ生むを売り母との
生活に思ひ深しも

安達 すみ子

はらはらと病葉ちらす庭木々の梢に小鳥
は何をついばむ

石川 喜代

有料広告掲載募集中!

お問い合わせは、秘書広報課へ ☎58-5111・75-3111、内線1268

広報 さくらがわ

有料広告掲載募集中!

お問い合わせは、秘書広報課へ ☎58-5111・75-3111、内線1268

広報 さくらがわ